

平成29年度 事業報告

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、穏やかな景気の回復が期待されるものの、世界経済の不確実性の高まり、金融市場の変動、並びに熊本地震の経済に与える影響など十分に留意する必要があります。

このような状況の中、シルバー人材センターは、高年齢者に働く機会を提供することを通じて、高年齢者の生きがいの充実や健康の維持・増進、経済的な生活の安定を図り、また、地域社会の維持・発展や現役世代の下支えなどに取り組んで参りました。

本年度においては、中期事業計画を踏まえ、会員及び役職員が一体となって、センター理念である「自主・自立、共働・共助」を基本におき、会員の増強に取り組みましたが、会員数は前年度より24人減の1,370人となりました。

また、受託事業は、前年度に比べ36,322千円の減で558,886千円、シルバー派遣事業では、前年度に比べ14,759千円の増で170,400千円となり、受託事業を合わせた実績額は、前年度に比べ2.9%減の729,286千円となりました。

一方、収支決算では、シルバー派遣事業の実績増加に伴う収益の増、緑のリサイクル事業における引取料の増額改定、及び必要経費・支払材料費の執行抑制等により、当期収支差額が10,019千円の黒字となりました。

以下、事業実績等についてその概要を報告いたします。

■法人の状況に関する重要な事項

I シルバー人材センター事業（公益目的事業）

1 高年齢者の生きがいと社会参加の促進

高年齢者の生きがいと福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高年齢者の入会促進に努め、又、就業上必要な技能及び知識を付与することにより、高年齢者の能力や希望を生かした就業機会等を実現し、多様なニーズに応えました。

(1) 会員の入会促進事業

高年齢者の入会を促進するために、入会説明会を毎月2回実施し、171人の方が入会しましたが退会者が195人となり、会員数は前年度より24人少ない1,370人となりました。

(2) 受託及びシルバー派遣事業

公共、公社公団、民間企業、一般家庭などへ、会員の豊富な経験や能力を生かせる就業機会の開拓に努め、会員の皆さんにそれぞれの希望や能力に応じた就業提供を行いました。

① 受託事業

契約件数は、12,597件(△2.4%)で前年度と比較し313件の減となり、また、就業延人員は、116,482人(△8.5%)で前年度と比較して10,832人の減となりました。契約金額は、558,886千円で、前年度と比較し36,322千円(△6.1%)の減となりました。

② シルバー派遣事業

契約件数は、242件(35.2%増)で前年度と比較し63件の増となり、また、就業延人員は、34,988人(5.2%増)で前年度と比較して1,729人の増となりました。契約金額は、170,400千円で、前年度と比較し14,759千円(9.5%)の増となりました。

③ 合計

就業延人員	151,470人	(前年度比	△5.7%)
契約金額	729,286千円	(前年度比	△2.9%)

(3) 講習会等の推進事業

生きがいや社会参加のため、就業を希望する高齢者を対象に、シルバー人材センターで就業が見込める技能・知識の講習を行い、就業機会の実現に努めました。

- ① 剪定班ランクアップ研修を1回実施、7人がランクアップ
- ② 剪定班新人養成研修を2回実施、16人が受講
- ③ シルバーふれあい教室では、新しい教室の実施に向け、スキルアップ研修を5回実施、延べ33人が受講

(4) 相談支援事業

高齢者ニーズ(就業、ボランティア活動等)に関する相談、情報提供を行うことにより、高齢者の能力や希望を生かした就業等の社会参加活動を推進しました。

- ① なんでも相談を毎月第1・3火曜日に実施、延べ37人の相談を受け、就業提供等を行いました。

2 普及啓発と就業機会の確保・拡大

(1) 普及啓発事業

センター事業が各界各層に正しく理解されるよう、普及啓発活動を積極的に推進しました。

- ① 問屋町「日曜日」で普及啓発活動を2回行い、就業開拓や入会案内のパンフレット等の配布のほか、シルバー花の土を2回に分け先着300人にプレゼントしました。
- ② 会報誌「シルバーとくしま」を年3回発行し、会員及び各団体にセンター活動の情報を提供しました。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

新規事業や新たな職種の拡大を目的として、就業開拓・促進委員会、安全・適正就業委員会、地域班等より広く意見を求め、会員の運営参画による事業運営の推進に努めました。

- ① 就業開拓・促進委員会を年4回開催し、新規事業の起ち上げや職域班組織の再編成について協議し、「地域のちょこっとサービスモデル事業」を実施しました。
- ② 就業開拓戦略会議を9回開催し、就業開拓の現状や問題点を洗い出し、就業開拓推進員4人が新たな就業機会の場の確保を図りました。

(3) 福祉・家事援助事業

会員が福祉・家事援助サービスを必要とする高齢者や病弱者等に提供するサービスとして、福祉・家事援助サービス、軽度生活援助事業、産前・産後家事育児支援事業（ママに安心ヘルプ事業）を実施しました。

契約件数は、2,121件（△4.2%）で前年度と比較し93件の減となり、また、就業延人員は、10,630人（△6.6%）で前年度と比較し751人の減となりました。契約金額は、27,571千円（△7.1%）で前年度と比較し2,104千円の減となりました。

(4) 女性活動活性化事業

シルバー人材センターにおける女性会員の活動の充実や活性化に関する事項を協議、検討し、その対策を推進するため、次の事業を実施しました。

- ① 女性活動推進委員会を年3回開催しました。
- ② 会員募集ポスター（会員募集・女性会員募集の2種）を地区組織にも協

力頂き、コミュニティセンター等に配布しました。

- ③ シルバーとくしま秋季号発行時に、「就業情報（請負委任・派遣）」と「就業情報の活用方法について」を全会員に配布し、1人でも多くの会員が希望の仕事につけるよう情報活用方法について周知しました。
- ④ 女性会員のスキルアップを目的に「認知症サポーター養成講座」を開催し、26人が受講しました。
- ⑤ 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施に向けて、事業内容・単価・事業名称等について協議検討しました。
- ⑥ 「シルバー手作りふれあい教室」は、学童保育クラブ等に会員が訪問し、万華鏡づくりほか工作、リズムダンス、染め物、手品など約20種類の教室を用意し、夏休み・冬休み・春休みの期間に23回実施しました。就業延人員は66人、参加児童数は1,379人でした。
- ⑦ 「地域ふれあい教室」として、センター多目的室を日曜日に6回開放し、地域の方と楽しみながら交流し、手芸などの教室を実施しました。

3 安全・適正就業の推進

会員の就業にあたっては安全就業を最優先し、各種安全啓発活動を通して会員の安全就業を推進しました。また、就業内容や就業形態については、適正な内容での受注を行いました。

(1) 安全就業推進事業

シルバー人材センター事業の運営において、会員の安全就業が最重要課題であり、会員の就業中の傷害・賠償事故及び就業途上における事故の防止対策等について、安全・適正就業委員会を中核に下記の事業に取り組みました。

- ① 委員会を5回開催し、事故原因の分析と防止策の検討や事故防止の啓発活動を実施するとともに、就業現場の巡回指導を4回実施し安全就業の指導に努めた結果、全体としては2件の減少に繋がっています。

○会員傷害・損害賠償事故発生状況 (単位:件)

区 分		H27年度	H28年度	H29年度
傷害 事故	就業中	8	5	8
	途 上	4	5	2
	計	12	10	10
損害賠償		4	5	3
合 計		16	15	13

- ② 安全研修としては、入会受付時に安全就業のビデオを放映し、これから就業に付くための安全就業の意識の向上を図りました。

- ③ 啓発活動としては、会報誌に事故内容等を掲載し、安全意識の向上を図りました。

(2) 適正就業推進事業

受託事業及びシルバー派遣事業の就業における内容や形態は、適正就業ガイドラインを基本として受注し、公平・公正な就業提供を行い、コンプライアンスを徹底し、安全・適正就業委員会を中核に、下記の事業に取り組みました。

- ① 委員会を5回開催し、適正な就業に基づき、ローテーション就業やグループ就業に努めました。
- ② 分かち合い就業に関する要綱に基づき、公共、公社・公団事業の就業場所の情報を提供し、選考基準に基づき16人が就業しました。
- ③ 適正就業ガイドラインのパンフレットを、会員及び発注者に配布し、適正な就業について周知を図りました。

4 組織体制の充実強化

シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を基本とし、会員による自主的な組織運営を促進しました。

(1) 地区組織活性化事業

- ① 地区組織活動の活性化を図るため、地区長委員会を1回開催すると共に、年1回の地区総会を自主的に開催し、センター情報の提供や会員相互の意見交換を行い組織活動の充実を図りました。
- ② 出席率40%の目標を掲げ、地区総会では3地区、ボランティア活動では4地区が達成しました。

(2) 職域班組織活性化事業

- ① 職域班組織活動の活性化を図るために、年1回の職域班総会を2職域班が開催、ボランティア活動としては1職域班が実施し、班員同士が情報を共有し班組織活動の充実を図りました。
- ② 技術・技能向上のため、1職域班が研修会を開催し、安全就業の徹底や技能・知識の向上に努めました。

5 指定管理者業務の推進

徳島市立考古資料館の指定管理者として、考古資料館事業推進委員会を3回開催し業務を推進しました。

6 その他

(1) 徳島県シルバー人材センター連合会が行う下記事業に参画しました。

- ・ シルバー派遣事業
- ・ 有料職業紹介事業
- ・ 役職員研修
- ・ 調査研究事業
- ・ 普及啓発活動事業
- ・ 安全・適正就業推進事業
- ・ 高年齢者活躍人材育成事業
- ・ 災害ボランティアネットワーク事業

(2) 全シ協、四シ協主催の研修に参画しました。

II 法人管理

1 諸会議の開催

センターの管理運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました。

会 議 名	開催回数
定時総会	年 1 回
理事会	年 5 回

2 センター事務局機能の充実

公益社団法人としての適正な事業運営と円滑な事業推進を図るため、各種研修会、講習会に参加し、センター職員の資質向上に努めました。

Ⅲ 事業実績報告

1. 会員数

(単位:人)

区 分	H29 年度 A	H28 年度 B	差引 (A-B)	伸率(%)	構 成 比 %		
					H29	H28	
会員数	1,370	1,394	△24	△1.7	100.0	100.0	
内 訳	男性	860	865	△5	△0.6	62.8	62.1
	女性	510	529	△19	△3.6	37.2	37.9

(会員数は年度末数値)

2. 受託事業会員就業動向

(単位:人)

区 分	H29 年度 A	H28 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
就 業 実 人 員	883	943	△60	△6.4
就 業 延 実 人 員	21,711	22,764	△1,053	△4.6
就 業 延 人 員	116,482	127,314	△10,832	△8.5
就 業 率	64.5	67.6	△3.1	△4.6
一件当りの就業日数	5.4	5.6	△0.2	△3.6

※ 就業率 = (就業実人員 ÷ 会員数) × 100

※ 就業一件当りの就業日数 = 就業延人員 ÷ 延実人員

3. 受託事業契約動向

(単位:千円)

区 分	H29 年度 A	H28 年度 B	差引 (A-B)	伸 率 %	構 成 比 %		
					H29	H28	
契 約 件 数	12,597	12,910	△313	△2.4	100.0	100.0	
内 訳	公 共	2,138	2,144	△6	△0.3	17.0	16.6
	民 間	10,459	10,766	△307	△2.9	83.0	83.4
契 約 金 額	558,886	595,208	△36,322	△6.1	100.0	100.0	
内 訳	公 共	185,018	181,684	3,334	1.8	33.1	30.5
	民 間	373,868	413,524	△39,656	△9.6	66.9	69.5

※ 契約件数は月1件の累計数値

4. 受託事業職業別実績

(単位：円)

職 業	契 約 件 数	就業延人員 (人)	契 約 金 額	構 成 比 (%)		
				契 約 件 数	就業延人員	契 約 金 額
管 理 的	0	0	0	0.0	0.0	0.0
専 門 的・技 術 的	198	1,756	13,924,468	1.6	1.5	2.5
事 務 的	167	2,123	10,104,970	1.3	1.8	1.8
販 売	12	47	50,916	0.1	0.0	0.0
サ ー ビ ス	2,709	24,929	111,450,549	21.5	21.4	19.9
保 安	0	0	0	0.0	0.0	0.0
農 林 漁 業	2,223	8,206	80,385,255	17.6	7.0	14.4
生 産 工 程	406	6,155	15,638,225	3.2	5.3	2.8
輸 送・機 械 運 転	0	0	0	0.0	0.0	0.0
建 設・採 掘	136	397	6,619,506	1.1	0.3	1.2
運 搬・清 掃・包 装 等	6,746	72,869	320,712,100	53.6	62.6	57.4
計	12,597	116,482	558,885,989	100.0	100.0	100.0

5. 受託事業会員就業配分金動向

(単位：円)

区 分	H29年度 A	H28年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
配 分 金	430,884,066	479,543,337	△48,659,271	△10.1
会員就業1日当り 平均配分金(円)	3,699	3,767	△68	△1.8

※ 会員就業1日当り平均配分金=配分金÷就業延人員

6. シルバー派遣事業職業別実績

(単位：円)

職 業	契約 件数	延人員 (日)	会員賃金 A	手数料等 B	合 計 (A+B)
管 理 的	0	0	0	0	0
専 門 的 ・ 技 術 的	1	53	143,750	42,550	186,300
事 務 的	9	577	2,220,710	613,946	2,834,656
販 売	17	574	2,453,750	685,410	3,139,160
サ ー ビ ス	95	21,222	76,514,237	19,933,412	96,447,649
保 安	0	0	0	0	0
農 林 漁 業	8	956	5,007,376	1,309,366	6,316,742
生 産 工 程	33	3,755	14,826,758	4,119,450	18,946,208
輸 送 ・ 機 械 運 転	11	1,793	8,566,873	2,389,575	10,956,448
建 設 ・ 採 掘	0	0	0	0	0
運 搬 ・ 清 掃 ・ 包 装 等	68	6,058	24,616,276	6,956,438	31,572,714
計	242	34,988	134,349,730	36,050,147	170,399,877

※ 契約件数=年度期間中に契約及び契約更新を行った件数

7. シルバー派遣事業会員賃金動向

(単位：円)

区 分	H29 年度 A	H28 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
会 員 賃 金	134,349,730	123,074,213	11,275,517	9.2
会員就業1日当り 平均賃金(円)	3,840	3,700	140	3.8

※ 会員就業1日当り平均賃金=会員賃金÷就業延人員

8. 有料職業紹介事業実績

項目 業務等	求 人				求 職		
	有 効 求 人 数	常 用 求 人 数	臨 時 求 人 延 数	日 雇 求 人 延 数	常 用 就 職 件 数	臨 時 就 職 延 数	日 雇 就 職 延 数
〇〇職業	0	0	0	0	0	0	0

■業務の適正を確保するための体制の整備に関する事項

(一般社団(財団)法人の事業報告の内容について定める法人法施行規則第34条第2項第2号(第64条)より)

1. 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況
 - ・改正個人情報保護法に関する県シ連合会主催の研修会に参加し、理事及び職員間で情報共有した。
 - ・理事会は、法令・定款及び理事会運営規則等に従い、重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督した。
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項
 - ・理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、法令等に基づき理事会議事録に記録され、その記録の保存・管理は、法令等に基づき適切に保存及び管理している。
3. 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要
 - 内部の統制については、重要な不備がないかを確認している。

平成29年度事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年3月

公益社団法人徳島市シルバー人材センター